

まつ 2023



東浦町長 神谷 明彦

明けまして

おめでとうございます。

昨年は、於大まつりや産業まつりなど多くの行事が3年ぶりに再開された年でした。産業まつりでは、骨折予防プロジェクトの一環として、町商工会やご当地グルメ開発実行委員会と役場が連携し、東浦産の摘果ぶどうを使ったクラフトビールを売り出しました。

骨折予防プロジェクトでは、国民健康保険のデータ分析から高齢者の入院費用総額のトップを占める「骨折」を予防することで、医療費を抑え、寝たきりなどを防ぐ

対策として、筋肉を維持する運動と骨を強くする食事を推奨しています。骨を強くする食事としては、食材に東浦にちなんだ「おから(卵の花)」と「摘果ぶどう」を使用し、これらをおいしく食べられるご当地グルメを町内の農家や飲食店に協力をいただき開発しました。昨年12月から、町内11店舗で提供しています。クラフトビールもこれらの取組みの中から生まれしました。今年は素敵な名前とラベルを付けて本格販売する予定です。

豊かで暮らしやすいまちには、産業の発展が欠かせません。企業の進出や拡張、

再投資を促す施策により、働く場、価値創造の場をつくり出そうとしています。石浜地区ではコンプレッサー工場や車載用新型バッテリー工場の新増設が進行しています。また、コンパクト

なまちの構造を維持しつつ、発展の余白として駅を拠点とした市街地の拡充や道路整備を進めています。一方で、名古屋都市圏の中で利便性と恵まれた自然を感じながら生活できる環境は大切です。里山の自然、里地の田園景観や東浦らしい^{なま}佇まいを守り育てていきます。

持続的発展のためには、財政の健全性も欠かせませ

ん。福祉の水準を維持・充実させながらも、事業に優先順位を付け、無駄を省き、借金を返して貯金ができる体制づくりに努めてきました。それは結果として表れてきています。

美しい自然と景観、便利で心豊かな暮らし、互いに支え合えるあたたかいコミュニティ、子どもたちの元気な笑顔、それらをみんなで実感できるまち、そしてここが好きだから住んでいる、住んでみたいという言葉が誇りにできるようなまちを共につくってまいります。今年も皆さまのご理解とご協力をどうかよろしく申し上げます。

新年のごあい



東浦町議会議長 山下 享司

明けまして
おめでとございます。

皆さまには、新春を健やかに
お迎えのことと心から
お喜び申し上げます。また、
旧年中は町議会に対しまして、
温かいご支援とご理解
を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年コロナの影響が影
を落とした1年でした。さら
にロシアによるウクライ
ナ侵攻は、世界に衝撃を与
えました。断じて認めるこ
とができず「ロシアのウク
ライナ侵攻に強く抗議する
決議」を全会一致で可決し
ました。

このウクライナ情勢と急
激な円安による影響で原油
価格や物価が高騰し、コロ
ナで疲弊した皆さまの経済
活動に追い打ちをかけまし
た。国、県の支援策に加え
て、水道基本料金減免など
町独自の支援策を行いまし
たが、更なる支援が必要で
あるため「原油価格・物価
高騰への対策強化を求める
意見書」を国に提出し、生
活安定のための経済政策を
断行するよう強く要望しま
した。

7月には豪雨により町内
各地で土砂災害が発生し、
現地視察により状況を確認
しました。町議会では、災

害時における役割などを定
めた「東浦町議会災害対策
会議設置要綱」と、議員の
行動指針を明確にし、適切
かつ迅速な行動をもって災
害対応に当たることができ
るようにした「東浦町議会
災害時対応マニュアル」を
策定しました。災害時には
議会と町災害対策本部が連
携し、被害の拡大防止およ
び復旧に寄与するとともに、
非常時においても議決機関
としての機能を維持できる
ようにしています。

昨年の新たな議会改革の
取組みとして、知多地域の
町議会で初となる常任委員
会会議録のWeb掲載を6

月定例会から開始しました。
また、委員会審査において、
議案がほかの委員会と関連
する場合に、合同で審査す
る連合審査会を初めて開催
しました。

今年4月には選挙が行わ
れ町議会議員が改選されま
す。皆さまが興味をもって
いただけるよう議会を活性
化し、開かれた議会を邁進
し議会改革を進めていく所
存でありますので、本年も
より一層のご理解、ご支援
をお願い申し上げます。

結びに、皆さま方のます
ますのご多幸とご繁栄を心
よりご祈念申し上げます、新年
のごあいさつといたします。